

創立60周年記念式典を開催しました(協同組合旭銀座のれん会)

協同組合旭銀座のれん会(逸見良昭理事長)は、11月25日(木)、山形市 料亭四山楼において、組合創立60周年記念式典を開催しました。

当組合は山形市七日町にある商店街組合で、組合員は現在39名。街なか賑わいフェスティバル事業、ウィンターイルミネーション事業をはじめ、各団体とまちづくり活性化に向けた共催事業を実施しています。

式典には、来賓として山形市長 佐藤孝弘氏、山形商工会議所会頭 矢野秀弥氏、山形市中心商店街街づくり協議会会長 船山隆幸氏らを迎え、多くの組合員が出席しました。逸見理事長は「組合が60年間続けてこられたのは、これまでの歴代の理事長、そして会員の方々の組合と地域に対する熱い思いがあったからで、その思いをしっかりと受け止め、次へと引き継いでいかなければならない。」と挨拶し、集まった組合員はこれからの組合の未来に向けて決意を新たにしました。また、組合功労者への表彰が行われ感謝状が贈呈されました。



創立50周年記念式典・新事務所落成記念祝賀会を開催しました(立谷川工業団地協同組合)



立谷川工業団地協同組合(吉田眞一郎理事長)は、11月26日(金)山形市 ホテルメトロポリタン山形において組合創立50周年記念式典祝賀会・新事務所落成記念祝賀会を開催しました。

当組合は昭和46年5月に設立され、現在組合員は23社。創立当初から、地下水をくみ上げて各組合員に供給する簡易水道事業を主な共同事業として発展してきました。50周年の記念事業として、組合事務所の建替えも行い、令和3年8月から新事務所で業務を実施しています。

当日は来賓として山形市長 佐藤孝弘氏、山形商工会議所会頭 矢野秀弥氏、株式会社商工組合中央金庫山形支店長 山下千尋氏らを迎え、多くの組合員が出席しました。吉田理事長は組合の功績や新事務所落成に触れながら、「今後の産業界を担う世代との懸け橋となる新拠点ができた。これを機に気持ちを新たに研鑽努力していこう」と式辞を述べました。集まった組合員はこれまでの活動を振り返りながら、今後のさらなる飛躍を誓い合いました。

「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典!!～」に出展しました(山形県漬物協同組合)

「組合まつり in TOKYO」(東京都中央会主催)は、全国の中小企業組合から出展を募り、組合の知名度向上、新たなビジネスチャンス・ビジネスマッチングの創出、地域の魅力発信等の場として開催する全国一体となった展示会です。

山形県漬物協同組合(近清剛理事長)は、令和3年12月2日から令和4年1月14

日の期間で開催された組合まつりの「オンライン展示会」に出展しました。出展ブースでは組合員の看板商品を動画で紹介した他、組合ページでは、4年に1度開催の「漬物品評会」や「沢庵禅師供養祭」、「山形の発酵漬物」などの組合事業を紹介し、オンラインを通して広く山形県の漬物をPRしました。

